

IWATSU

安全データシート

作成日：1993年04月01日

改訂日：2016年07月01日

[SDS No. 1-6]

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 : エレファクスエッチ液
Fエッチ液

会社情報

会社名 : 岩崎通信機株式会社
住所 : 東京都杉並区久我山1-7-41
担当部門 : 第一営業本部 第一営業部
電話番号 : 03-5370-5476
ファックス番号 : 03-5370-5494
緊急連絡電話番号 : 03-5370-5476
推奨用途及び使用上の制限 : エレファクスエッチ液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分及び含有量：

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
アジピン酸	124-04-9	(2)-858	1-10

4. 応急措置

吸入した場合 : 患者を風通しの良いところに移して安静にする。大量に吸入した場合には、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類は脱ぎ去り、多量の水及び石鹼で洗い流す。希釈液であっても、時間の経過とともに水分が蒸発し、かえって原液より濃度が濃くなる場合がある。皮膚刺激が生じた場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐き出そうとせず、水で口をすすぎ、速やかに医師の手当てを受ける。
予想される急性症状	: 情報なし
遅発性症状の最も重要な兆候症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 泡消火剤、炭酸ガス、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の消化方法	: 本製品は不燃性であるが、周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。消火のための放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴、防火服を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には保護具（保護手袋、呼吸用保護具等）を着用し飛沫などが皮膚に付着しないようにする。風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合には、乾燥砂、ウエスなどに吸収させて密閉できる容器に回収する。 大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。製品を吸着または吸収したものは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って適正に処理する。外部委託の場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。（「1 3. 廃棄上の注意」の項 参照）
二次災害の防止策	: 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 吸入、接触のおそれがあるときは、適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: ばく露防止のため、保護具を着用して作業を行う。取扱場所で

	は換気を充分に行い、また近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。
接触回避	: 情報なし
保管	
安全な保管条件	: 漏洩の防止。容器を密閉し、直射日光を避け、高温物を近づけない。換気良好な冷暗所に保管する。 * 0℃以下になるような場所には保管しない。
技術的対策	: 通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。
混触禁止物質	: 酸化剤等
容器包装材料	: 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 日本産業衛生学会（2005年版）設定されていない（アジピン酸） ACGIH（2005年版）TLV-TWA 5mg/m ³ （アジピン酸）
設備対策	: 作業場は換気を充分に行う。
保護具	
呼吸器の保護具	: 換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。 （有機ガス用防毒マスクを推奨する。）
手の保護具	: 適切な手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	: 適切な顔面用の保護具を着用すること。 保護衣及び長靴を着用すること。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
色	: 淡橙色透明
臭い	: 特有の臭い
臭いの閾値	: 情報なし
pH	: 4.3～4.5
融点・凝固点	: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし

燃焼性	: 情報なし
燃焼範囲の上限・下限	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
比重	: 1.08～1.09
溶解度	: 水に任意の割合で溶解
自然発火温度	: 情報なし
粘度	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件下では反応しない。
化学的安定性	: 通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強アルカリ。
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

製品の有害性情報
情報なし

成分の有害性情報

アジピン酸

急性毒性	: 経口 ラット LD50 >3600-11000mg/kg 経口 ラット LD50 >11000mg/kg 経口 ウサギ 「4,860mg/kg では投与後10-30 時間に死亡がみられ、剖検で褐色内容物 を含んだ腸の膨大がみられている」とい う報告がある。 吸入(粉じん) ラット LC50 7.7mg/L
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 「人に乾燥肌を起こす」及び動物での「軽度の 刺激性」の記載がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: EU-Annex1: Xi; R36 に分類され、「中等度から重度の刺 激性」の記載がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: 生殖細胞及び体細胞 in vivo 変異原性試験はいずれも陰 性であるとの報告がある。
発がん性	: 「腫瘍発生率に有意な差はみられない」との報告がある。

生殖毒性	: ラット、マウス、ウサギ及びハムスターの4動物種の発育毒性/催奇形性試験でいずれも「母動物、胎児、新生児に影響はみられず、奇形発生率への影響も見られていない。」との報告がある。
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 「ダストなどはヒトの上部気道粘膜に軽度の刺激性を示す」との記載がある。
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: 「ラットに 175mg/animal/day を2年間経口投与しても特別な影響がみられていない」との報告がある。
呼吸性呼吸器有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

成分の環境影響情報

アジピン酸

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

陸上輸送（ADR/R I Dの規定に従う）

国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
副次危険性 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
副次危険性 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
海洋汚染物質 : 該当しない
IBC コード : 該当しない

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
副次危険性 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

国内規制

陸上規制情報 : 該当しない
海上規制情報 : 該当しない
海洋汚染物質 : 非該当
航空規制情報 : 該当しない

特別の安全対策 : 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法 : 非該当
労働安全衛生法 : 施行令 別表第9 名称等を通知すべき有害物
政令番号 第10号 「アジピン酸」
化学物質審査規制法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当
廃棄物処理法 : 産業廃棄物（廃酸、廃プラスチック）

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分注意してください。注意事項は当製品についての通常を取扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取扱い願います。

参考文献

NITE GHS分類結果一覧(2014)

日本工業規格 : JIS Z 7253:2012、JIS Z 7252:2009

社団法人日本化学工業協会 : GHS対応ガイドライン(平成18年)

中央労働災害防止協会 : 職場のあんぜんサイト

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2014) TLVs and BEIs.

その他関連する安全データシート
